

人権集会を行いました



12月4日(水)から12月10日(火)を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を行っています。

いじめや虐待、性被害等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、アイヌの人々、性的マイノリティ等に対する不当な差別や偏見、部落差別(同和問題)、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。

これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことでなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

南小学校には『あったか宣言』があります。

「人がうれしい気持ちになることはする!人が嫌な気持ちになることはしない!」というものです。

12月2日(月)~12月6日(金)の週は、各クラスが取り組んでいることをお昼の放送で発表しました。そして12月9日(月)の業間の時間には全校が体育館に集まり、校長先生からお話のなかで、「一人一人違う仲間が悲しまないように気を付けると良いことはどんなことがあるか考えてみましょう。」という呼びかけを受け、子どもたちは各教室でいろいろ話し合いをしました。

「相手の気持ちを考えて話したり、行動したりする。」「素敵などころをいっぱい見つけてあげる」等、子どもたちはいろいろ考え、これから行動することを改めて確認しました。

南保育教育センターの年長さんとの交流



11月29日(金)2時間目(5年生の総合的な学習の時間)に、南保育教育センターの年長児50名が遊びに来てくれました。来年6年生になる5年生と、来年新1年生になる年長児と一緒に活動しました。

5年生の子どもたちは、園児が楽しんでくれるようにいろいろな遊びを考えました。当日はお店屋さん係と一緒に行動するお世話さん係に分かれました。はじめはどちらの子どもたちもすごく緊張していましたが、次第に園児の喜ぶ笑顔や「もっとやりたい」「次はあの遊びがしたい」などの言葉に励まされ、ニコニコ笑顔で5年生も頑張ることができました。とても頼もしい5年生でした。